

味の素冷凍食品㈱

代表取締役社長

吉峯 英虎 氏



1978年味の素入社。本社食品部から、冷凍食品部9年。1998年海外食品部。2001年10月から2005年6月までアメリカ味の素冷凍食品（ポートランド）の初代専任社長。アミノ酸コンシューマープロダクト部長、外食デリカ事業部長。10年味の素執行役員。11年6月味の素冷凍食品社長。1954年（昭和29年）10月22日鹿児島生、一橋大法卒。58歳。

農林水産省

食料産業局長

針原 寿朗 氏



1980年農水省入省。国際経済課長、予算課長、官房総括審議官、総合食料局長などを経て、2011年9月から現職。農山漁村のポテンシャルを生かした食料産業の活性化を図るため、今年2月に農林漁業成長産業化ファンドを創設。地域資源を活用した農山漁村の振興に力を注ぐ。富山県出身。東大法卒。

メトロキャッシュアンドキャリージャパン㈱

代表取締役社長

石田 隆嗣 氏



中小飲食店が主要顧客のセルフサービス登録制卸店9店を展開。2011年1～12月の売上高は2億6400万ユーロで2ケタ増、12年も2ケタ増収。1993年丸紅入社、96年丸紅米国、2001年メトロキャッシュアンドキャリージャパン入社、管理企画部長、06年取締役管理本部長、09年から現職。1970年（昭和45年）2月17日生まれ、43歳。慶応義塾大学商学部卒。

㈱スマイルズ（スープストックトーキョー）

法人営業部長

我妻 義一 氏



冷凍スープの物販を担う法人営業部の責任者。「ご家庭においしいスープをお届けしたい。味噌汁よりもスープがより身近になってほしいという志で事業に取り組んでいます」。量販店バイヤーやコーヒーチェーンの商品開発担当などを経て2008年12月入社。2009年10月から現職。横浜市出身。1973年（昭和48年）12月生まれ、39歳。明治大学商学部卒。

イトアンド㈱

代表取締役社長

文野 直樹 氏



父親が創業した大阪王将食品㈱（現イトアンド㈱）に1980年入社。85年から現職。2011年6月ジャスダック市場に上場、12年11月東京証券取引所市場第二部に上場。1959年（昭和34年）11月29日生まれ、大阪府出身。53歳。

㈱アクリフーズ

専務取締役

時岡 高志 氏



1973年日魯漁業（マルハニチロ食品の前身）入社。ニチロ（同）の札幌支社、東京支社を経験し、98年冷食チルド食品部商品開発課長、2001年商品開発部長。03年アクリフーズに出向、04年常務、09年から現職。1950年（昭和25年）9月20日生まれ。法政大経済学部卒。

㈱アークス

代表取締役社長

横山 清 氏



1961年大丸スーパー入社、85年社長、89年丸友産業との合併会社ラルズ社長、2002年福原と経営統合、傘下8社を統括する純粋持株会社アークス社長（現任）、同年新設した子会社ラルズ社長、07年会長（現任）。11年青森のユニバースと経営統合、12年岩手のジョイスと経営統合し、東北エリアに事業領域を拡大した。㈱北海道シジシー社長。（一社）新日本スーパーマーケット協会会長など公職多数。1935年（昭和10年）5月生まれ、77歳。北大水産卒。

関東食糧㈱

取締役

白田 真一朗 氏



埼玉県の外食市場における最有力卸。現金卸売部門を除く外食卸の県内軒数シェアは約40%。さらにシェアを高めるため、白田真一朗副社長を中心に物流改革を実行し、納品時間短縮などの成果を出した。味の素㈱勤務を経て2000年、父親が経営する関東食糧に入社。2010年2月から現職。埼玉県出身。1976年（昭和50年）1月生まれ、38歳。東京理科大学工学部卒。

（財）流通経済研究所

主任研究員

石川 友博 氏



1995年松下電工㈱（現パナソニック㈱）入社。2005年コンサルティング・教育サービス会社に転職。2010年流通経済研究所入所、製・配・販連携協議会事務局。2012年主任研究員。（一社）日本卸売協会専務理事、営業・取引革新研究会事務局・コーディネーター、食品ロス削減のための商慣習検討ワーキングチーム事務局を兼ねる。中小企業診断士。主な研究領域は流通構造研究、営業・チャネル戦略。1995年慶應義塾大学経済学部卒業。

フィーストインターナショナル㈱

代表取締役社長

福田 芳子 氏



フードプランナー、調理師、飾り巻き寿司インストラクターなど多彩な活躍が光る。商品をいかにおいしく提供し、美しく見せるかというノウハウを蓄積し、食品業界に貢献。商品やメニュー開発で一流メーカーから頼られる存在。市販されている冷凍食品への辛口の批判、注文が期待される。